

公共事業等施行状況調（令和1年9月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (9月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		元年度 C	C/A	30年度 D	D/B	
		元年度	30年度	元年度 A	30年度 B					
1	治山・治水	23,878	22,307	14,437	12,108	11,515	79.8	9,062	74.8	
2	農林・水産	25,679	24,280	17,852	17,441	15,330	85.9	14,420	82.7	
3	道 路	49,214	41,331	22,941	22,192	22,791	99.3	18,256	82.3	
4	港湾・空港	5,589	6,901	2,426	2,831	2,042	84.2	1,896	67.0	
5	下水道・公園	6,093	14,676	3,560	9,838	2,957	83.1	8,039	81.7	
6	住 宅	1,736	2,400	1,136	849	739	65.1	734	86.5	
7	庁 舎	744	3,444	603	3,380	279	46.3	2,746	81.2	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	8,344	6,288	7,127	5,313	2,108	29.6	1,697	31.9	
11	工業用水・上水道等	1,242	999	148	87	109	73.6	55	63.2	
12	災害復旧	122	352	15	101	15	100.0	86	85.1	
13	その他	7,993	7,307	4,666	4,044	1,872	40.1	2,170	53.7	
	計	130,633	130,285	74,912	78,183	59,757	79.8	59,161	75.7	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和1年9月末）

（単位：社、件、百万円、％）

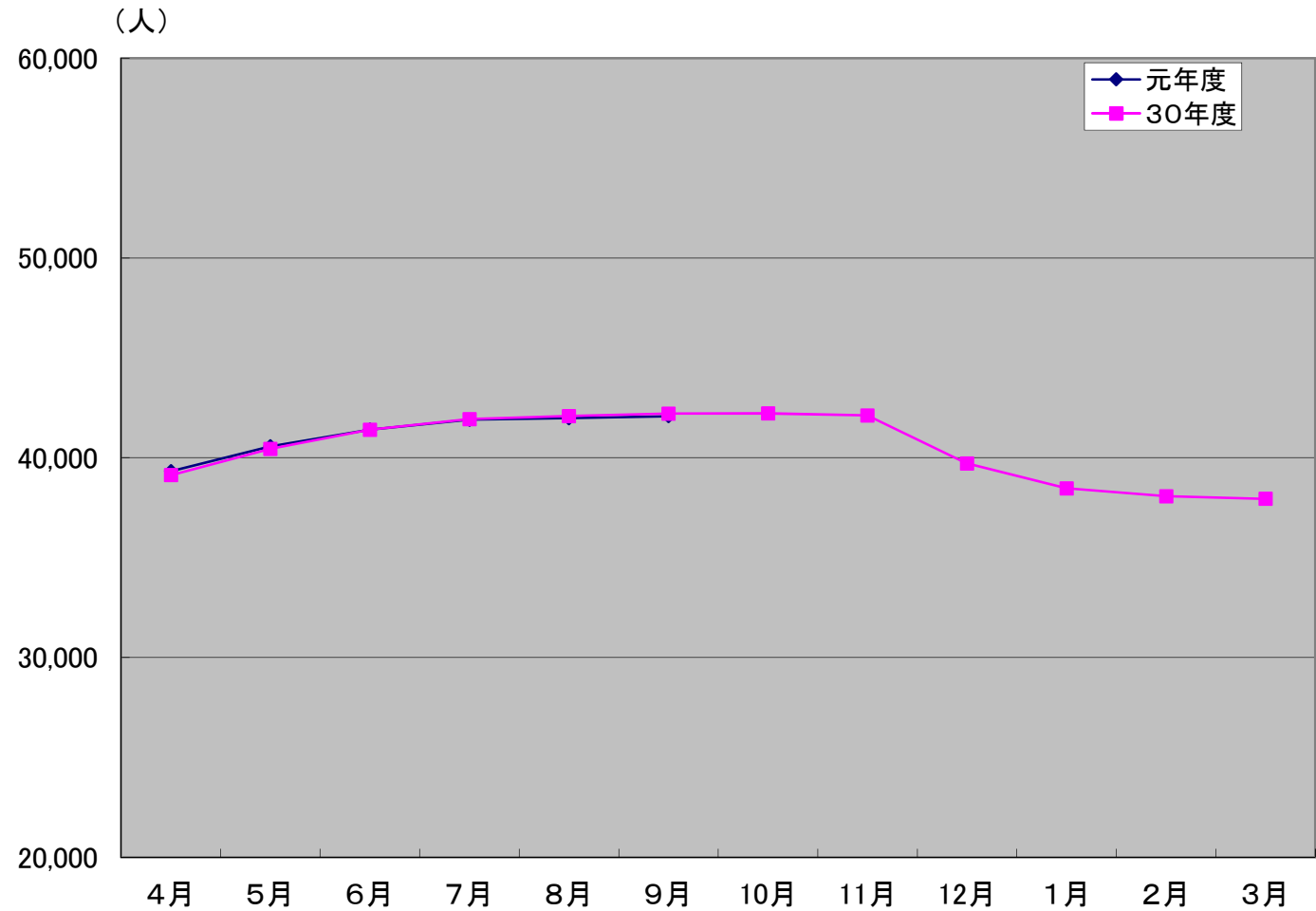
事 項	予 算 措 置 額		発 注 実 績											
	(A)		合 計 (B)			県 内 (C)			県 外 (D)			共 同 企 業 体 (E)		
区 分	事業費	本工事費	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額
元年度	130,633	74,912	21,109	1,916	59,757	20,591	1,834	54,690	455	67	2,247	63	15	2,820
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					79.8	97.5	95.7	91.5	2.2	3.5	3.8	0.3	0.8	4.7
前年度比	100.3	95.8	112.6	105.2	101.0	113.1	106.9	117.4	97.8	79.8	61.4	80.8	68.2	31.6
30年度	130,285	78,183	18,741	1,821	59,161	18,198	1,715	46,589	465	84	3,661	78	22	8,911
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					75.7	97.1	94.2	78.7	2.5	4.6	6.2	0.4	1.2	15.1

被保険者数

	元年度	30年度
4月	39,329	39,131
5月	40,575	40,444
6月	41,411	41,404
7月	41,898	41,938
8月	41,985	42,090
9月	42,080	42,214
10月		42,222
11月		42,114
12月		39,709
1月		38,468
2月		38,075
3月		37,949

前月末被保険者数	41,985
資格取得者数	600
資格喪失者数	503
転入者数	4
転出者数	6
今月末被保険者数	42,080

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)9月末



建設資材の需給・価格動向調査 (元年10月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の8月の販売量は2万9千トン(セメント協会調べ)で前年同月比20.3%の減。メーカー各社は、昨年4月に打ち出した1,000円の値上げの積み残し分について交渉を継続しているが、主たる需要家の生コンメーカーは、骨材調達や製品輸送および廃棄物処理に係るコストの増加が経営を圧迫しているとして、依然として値上げに抵抗している。先行き、横ばいの公算が大きい
コンクリート製品	○			○			○			○			○			○			○			○			県内出荷は、道路用、農業用とも、前年同期比でやや減少している。需要が小口化しているため各メーカーとも採算性を重視おり、製品価格は横ばいで推移している。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
生コンクリート	○			○			○			○			○			○			○			○			県内の9月の出荷量は5万3千m3(生コン工組調べ)で前年同月比26.4%の減。出荷量が前年同期と比較すると減少しているため、需要家の値引き要求が強まっており、メーカー各社は採算確保を目的として現行価格を維持している。先行き、横ばい推移。
砕 石	○			○			○			○			○			○			○			○			一部地域のメーカーは、輸送コストや人件費の上昇を理由に4月から値上げを表明。値上げが浸透した。値上げもひと段落し、メーカー各社は採算確保を目的として現行価格を維持する構え。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
小 棒	○			○			○			○			○			○			○			○			SD295A・D16でトン当たり71,000円と前月比2,000円の下落。需要は端境期にあり、低調に推移している。原料の鉄くずが下落するなか、需要家は当用買いに徹しながら値下げ要求を強めている。電炉メーカー各社は収益を確保するため、現行価格を維持したい意向だが、流通業者間の販売競争が激しくなっており、じり安商状が続く。メーカーでは大型物件は少ないものの、11月以降はある程度の需要が控えているとみて価格優先の販売姿勢を取り始めているが、需要家は更なる安値購入を目指していることから、先行き、弱含みで推移する公算が大きい。
アスファルト	○			○			○			○			○			○			○			○			9月の県内出荷量は7万3千トン(合材協会調べ)で前年同期比9.9%の増。アスファルト混合物は小口の補修工事向け需要が中心。需要家は、原材料であるストアスが値下がりしたことを受け、値下げ要求を一層強めている。しかし、メーカー各社は、輸送コストや過去のストアス上昇分が製品価格に転嫁できていないことを理由に、需要家の要求には応じない構え。先行き、横ばいの公算大。
木 材	○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり68,000円と前月比変わらず。8月の県内新設住宅着工戸数は548戸で前年同月比3.4%の増加(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前月比3.2%減少、貸家も同3.0%の減少となったが、通常はウエイトの低い分譲が194.4%増加となったことが全体を押し上げた。春先以降の丸太不足は改善されつつあり、流通業者も通常の受注体制を確保している。先行き、横ばい推移の見込み。
油 類	○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡してリットル当たり101.5円と前月比2円の上伸。重油はローリー渡して、リットル当たり62.5円と前月比2円の上伸となった。9月中旬にサウジアラビアで起きた石油関連施設への攻撃により供給不安が加速、原油価格は大きく上昇した。これを受けて元売り各社は仕切価格を見直し、流通筋も追従した。しかし、石油関連施設の復旧が予想以上に速く、生産能力はほぼ回復。再び米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題による世界経済の減速懸念が強まり、原油価格は軟調に推移している。目先、弱含みの見込み。
型枠合板	○			○			○			○			○			○			○			○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,360円と前月比変わらず。前月までの続落基調から一服状態となった。全国的な輸入合板の入荷減少を背景に流通在庫が減少しているが、消費増税に伴う駆け込み特需も市場で予測されたほどには活発化せず、模様眺めの商状。流通筋は、当座の注文に對し着実に売り上げを確保していく姿勢だが、増税後の手控えによるさらなる需要減を懸念する向きもあるなど、先行きに対する不透明感が強い。先行き、横ばいで推移する見込み。
形 鋼	○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり87,000円と前月比2,000円の下落。需要家からの新規受注は、低迷しており、さえない商状が続く。需給のタイト感が乏しいなか、主力電炉メーカーが販売価格の引き下げを表明したことなどで、市中では先安観が台頭。需要家は当用買いに徹しながら、厳しい姿勢で商談に臨んでいる。流通業者間の販売競争も激しさを増し、数量確保のため値引きに応じる場面も散見される。今後の原料動向と需要の見直しからも、市況が底入れする要因は見当たらない。目先、弱含み推移の公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (元年10月)

区 分	品 名・規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,100	0.0	3,400	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	98,000	0.0	98,000	0.0	98,000	0.0	98,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	71,000	-2.7	71,000	-2.7	71,000	-2.7	71,000	-2.7	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	84,000	-3.4	84,000	-3.4	84,000	-3.4	84,000	-3.4	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(マイクロリー渡し)	L	101.5	2.0	101.5	2.0	101.5	2.0	101.5	2.0	101,500円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	62.5	3.3	62.5	3.3	62.5	3.3	62.5	3.3	62,500円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,360	0.0	1,360	0.0	1,360	0.0	1,360	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	87,000	-2.2	87,000	-2.2	87,000	-2.2	87,000	-2.2	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

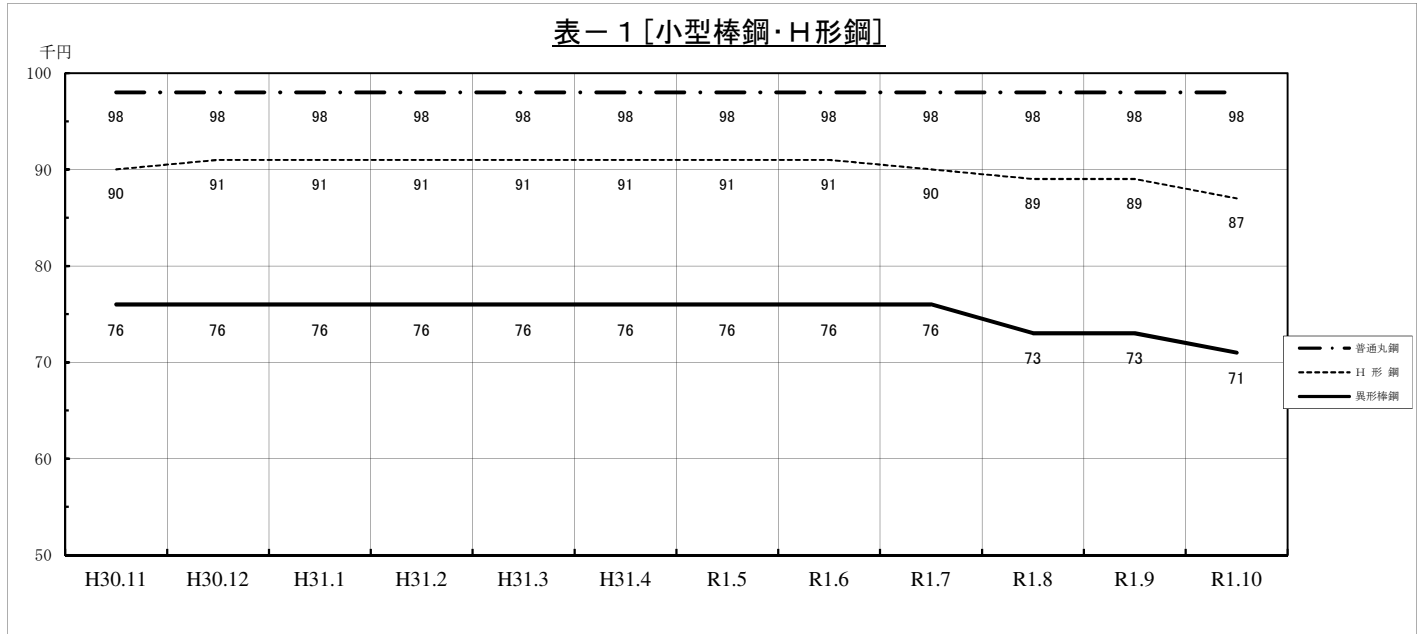


表-2 [セメント・生コン]

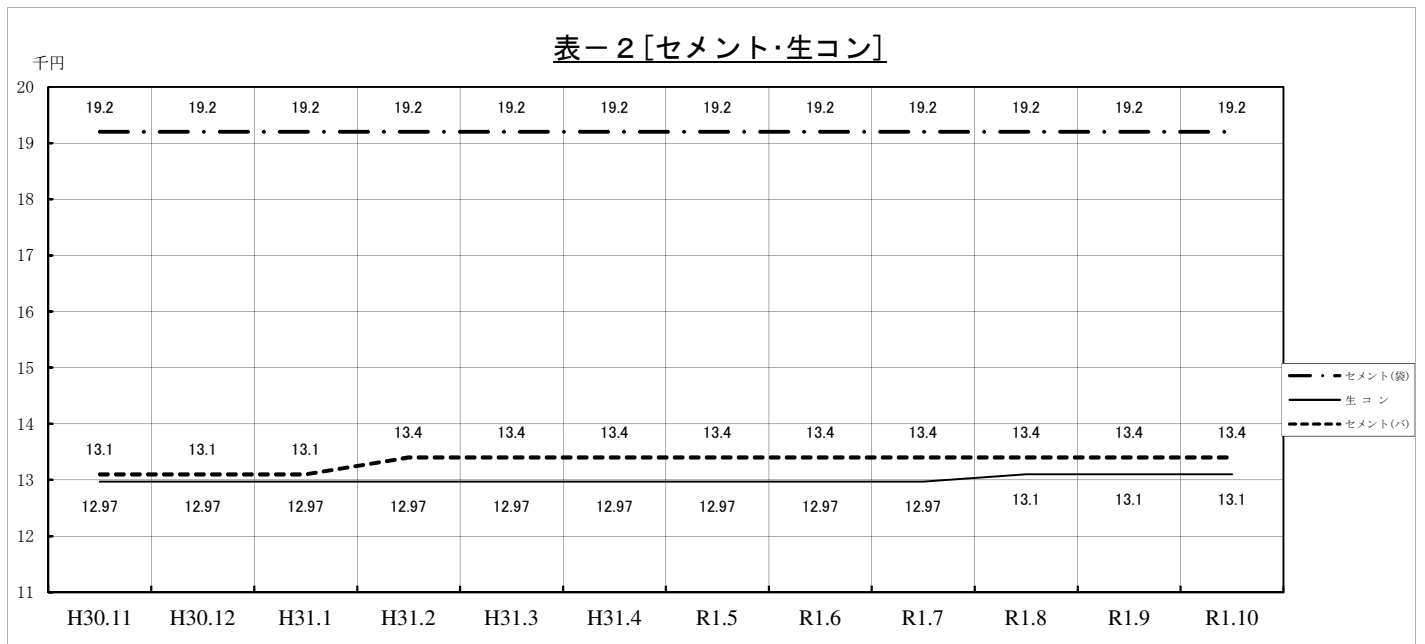
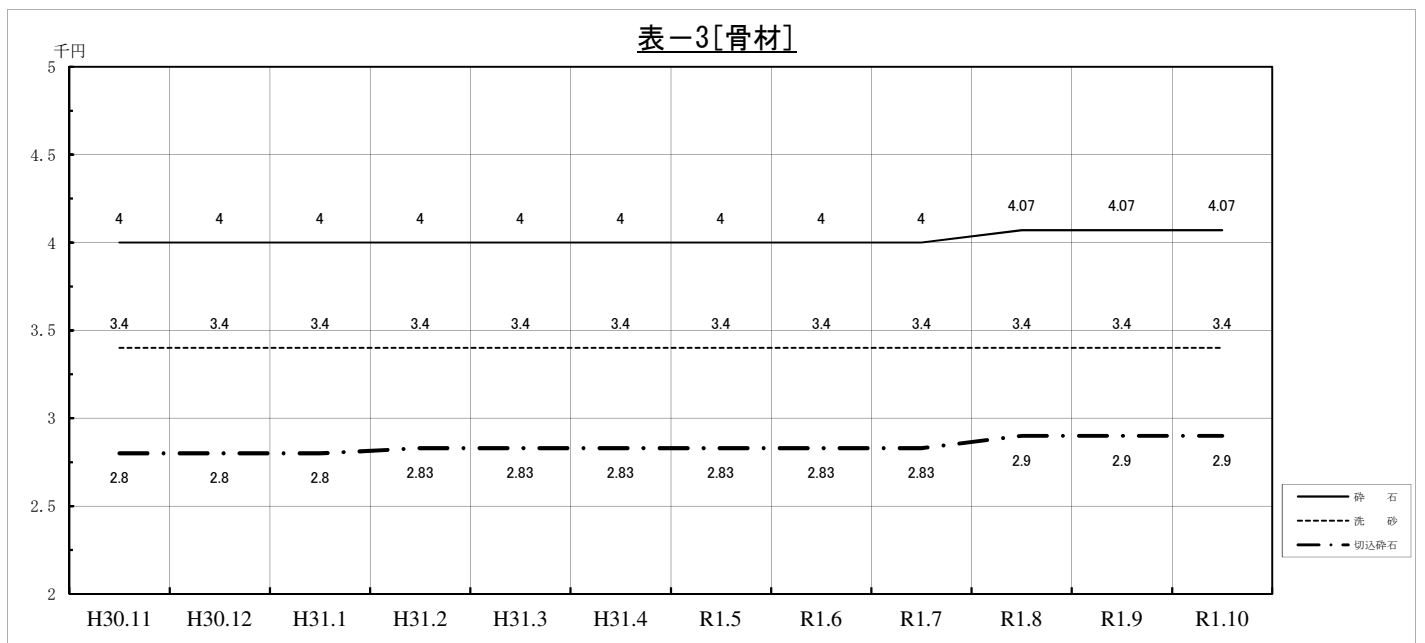


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

